

みずくらいど

校長 加藤雅弘

夏休みもふくめて宿題は、どのように決めていく？

1 学習の状況は提示してもらえるの？

2 できるようになるまでの期間は？

3 校長先生が変わるたびに、宿題の出し方も変わるの？

上記は土曜日に保護者会に向けていただいていた質問です。当日、これらについて全て触れることができませんでしたので、こちらでお応えして参ります。

1 学習の状況は提示してもらえるの？

区調査の個票を面談で返却しております。この票では、何をまちがえたかが分かります。また、誤答分析を行っていますので、誤答のうち、ケアレスミスなのか、自主学習で理解できるのか、先生に教えてもらうのかなどを実態に応じて分けることができています。これを基に、家庭で取り組むもの、朝学習・放課後補習・サマースクール等で学習するもの等を分けていただきたいと思っています。もちろん、担任と児童、保護者の3者で確認、相談して進めてほしいと考えております。この他の学習についても、この誤答分析の仕方を応用して、自分の状況をメタ認知して進める方向で考えています。

2 できるようになるまでの期間は？

これは、お子さんの経験や性格などにもよるので一概にお応えできません。17号で紹介しましたように、低学年でも年度当初からできる児童もいますし、高学年でも「宿題減るの？ラッキー」と認識している児童もいます。誤答分析を行う中で「何のために学ぶのか」の理解が進めば、「量」ではなく自分に本当に必要な学習を選んでいく意味が理解できると考えています。仮に減らすことだけを目的としてしまい、一時的に学力が下がってしまうことがあるかもしれません。回り道を通ったとしても、「なぜ、学ぶのか」をここで学べば、将来に向けては意味があると考えています。遅くとも中学生になった時、自分で考えて学習を進められる力を付けておくことが、将来に向けて非常に重要であると思います。

3 校長先生が変わるたびに、宿題の出し方も変わるの？

こればかりは、私が断言できません。しかし、年度当初教育委員会にこの方法で取り組むことを提案し、学力定着の担当の方からは、改善しながら進めてほしいとの指示を受けております。大きな教育改革を受けての変更ですので、試行錯誤することもあるかと思いますが、「全員一律の課題」から、「その児童にとって最適な課題」にシフトチェンジしていく方向は、校長によって変わらないのではないかと考えております。

保護者の皆様におかれましては、ご不安の気持ちもおありのことと存じます。一律の課題も用意してありますので、担任ともよく相談していただくとともに、必要でしたら校長にもお問い合わせください。